

大会テーマ：言語政策研究の過去・現在・未来

日 時 2013年6月1日(土)～2日(日)

会 場 桜美林大学 (東京・町田市) 明々館

アクセス <http://www.obirin.ac.jp/access/machida/index.html>

参加費(予稿集) 会員：500 円 一般：1000 円

6月1日(土) 12:00～ 受付開始

第1日目 会場 明々館4階 A408号室(控室A407号室)

- 13:00-13:15 **開会の辞**
会場校挨拶 三谷高康(桜美林大学学長)
会長挨拶 森住衛(日本言語政策学会会長)
- 13:15-14:50 **基調パネルディスカッション**
「日本の言語政策研究の誕生から現在まで」
提 案 者 田中慎也(日本言語政策学会前会長)
大谷泰照(日本言語政策学会前理事)
提案者兼司会 森住衛(日本言語政策学会会長)
- 15:00-17:00 **全体シンポジウム**
「日本の言語政策研究の現在から未来」
提 案 者 横田雅弘(異文化間教育：明治大学)
西口光一(日本語教育：大阪大学)
宮島喬(移民政策：お茶の水女子大学)
提案者兼司会 西山教行(言語政策：京都大学)
- 17:30-19:00 **懇親会** 崇貞館地下 ファカルティクラブ 3000 円

6月2日(日) 9:30～ 受付開始

第2日目 会場 明々館4階 A408号室、A407号室、A406号室、A405号室
3階 A306号室、(控室A305号室)

10:00-11:30 **一般研究発表**

第1会場 A408号室 司会 オストハイダー・テーヤ(関西学院大学)

- 10:00-10:30 「駐日大使館勤務者の言語管理—複言語使用者の L1・英語・日本語使用に注目して—」
行田[阿南]悦子(桜美林大学大学院修了)
- 10:30-11:00 「言語意識運動から言語への目覚め活動へ」
大山万容(京都大学大学院)
- 11:00-11:30 「初等、中等教育のあり方から見るヨーロッパにおける多言語主義の浸透」
堀晋也(京都大学)、西山教行(京都大学)

第2会場 A407号室 司会 佐野直子(名古屋市立大学)【手話通訳あり】

- 10:00-10:30 「多言語コミュニティにおける共通言語と言語権—シンガポール、ドイツの事例から—」 松岡洋子(岩手大学)
- 10:30-11:00 「情報保障における当事者性—情報保障媒体の日瑞比較—」
かどやひでのり(津山高専)／打浪文子(淑徳短期大学)
- 11:00-11:30 「日本手話を取りまく政策問題—言語政策と福祉政策の狭間で—」 杉本篤史(東京国際大学)

第3会場 A406号室 司会 山崎吉朗(日本私学教育研究所)

- 10:00-10:30 「批判的視点から見た日本の高校の外国語教育政策」
野田麻実子(ロンドン大学教育研究所博士課程)
- 10:30-11:00 「外国語教育をめぐる政策サイクルの分析：英語以外の外国語の選択必修化の実現には何が必要か」
上村圭介(国際大学)
- 11:00-11:30 「中国人名の中国語読み移行期を迎えて」
岡本佐智子(北海道文科大学)

第4会場 A405号室 司会 嶋津拓(大東文化大学)

- 10:00-10:30 「全国夜間中学校研究大会関係者の『ロビイング観』の変化」
日下部恵一郎(一橋大学大学院)
- 10:30-11:00 「教科『日本語』と日本語教育との接面—連携の可能性を探るために—」
有田佳代子(敬和学園大学)
- 11:00-11:30 「非英語圏の EMI プログラムにおける言語に関する現状と課題—日韓の大学を中心として—」
嶋内佐絵(日本学術振興会特別研究員 [PD])

13:00-13:30 **総会** 明々館 A408号室

13:40-15:40 **分科会**

第1分科会

A408号室 司会：古石篤子(慶應義塾大学)
「『もうひとつの学習指導要領』を考える—『構造』から『行動』へ—」
古石篤子(慶應義塾大学)
「趣旨及び問題提起」
杉谷真佐子(関西大学)
「『言語構造』から『言語行動』へ」
水口景子(国際文化フォーラム)
「『外国語学習のめやす』の意義」
白山利信(筑波大学)
「『もうひとつの学習指導要領』をどうやって実現するか」
福田浩子(茨城大学)
「英語教育からのコメント—複数外国語教育における『英語教育』との協力について考える」

第2分科会

【手話通訳あり】 A407号室
司会・問題提起：佐々木倫子(桜美林大学)
「障害とコミュニケーション—社会がうみだす情報弱者の視点を中心に」
あべやすし
(日本自立生活センター自立支援事業所／愛知県立大学)
「社会がうみだす情報弱者—ことばのバリアフリーにむけて」
川島清(ろう当事者／NPO法人手話教師センター／Dプロ)
「教育・社会が増幅する聴覚障害」
神山忠
(ディスレクシア当事者／岐阜市立岐阜特別支援学校)
「教育・社会が増幅する識字障害」
木村哲也(帝京大学)
「障害者予算措置と言語／教育政策」

第3分科会

全体討論「障害者予算・言語／教育施策・教育現場・社会」
A406号室 司会・問題提起 杉野俊子(工学院大学)
「言語権と格差—日本・スペイン・香港の事例における問題点」
杉野俊子(工学院大学)
「日系ブラジル人の母語維持の困難さの現状と影響」
河原俊昭(京都光華女子大学)
「高齢者介護の言語問題」
柿原武史(南山大学)
「ICT時代の地域語・少数言語と格差の問題を考える」
原隆幸(鹿児島大学)
「香港における言語教育と豊かさの追求」

第4分科会

A405号室 司会・問題提起 岡本能里子(東京国際大学)
「メディアと言語政策—コミュニケーション政策としての言語政策」
岡本能里子(東京国際大学)
「コミュニケーション能力とメディア・リテラシー」
門倉正美(横浜国立大学名誉教授)
「メディアへの批評機能をいかに確保するか」
下村健一(元 TBS アナウンサー、前内閣広報室審議官)
「いつ取り組む？ 今でしょう！—報道現場と首相官邸で痛感したこと」

第5分科会

A306号室 司会 山川和彦(麗澤大学)
「観光と言語—観光立国の方向性を探る」
山川和彦(麗澤大学)
「観光に関連する言語研究領域とその課題」
藤井久美子(宮崎大学)
「言語景観から考える観光と多言語状況」

15:50-17:00 **全体会(分科会総括)** A408号室

司会・まとめ 宮崎里司(早稲田大学)、細谷美代子(筑波技術大学)

17:00 **閉会の辞**